

ラウンドワン開催



運動会行事として『ラウンドワン』を行いました。ラウンドワンにいかにもありそうな競技をユニットごとで企画し、皆さまにスポーツの秋を満喫していただきました。



開会式は、森本治郎さんの開会宣言に塚本辻夫さんのラジオ体操。皆さん、青空の下で手足を伸ばし、思いきり体操をしておられました。体操の後はシャボン玉ショー。秋晴れの青空に舞うシャボン玉があまりにも綺麗で、その光景に皆が引き込まれました。お昼ご飯は初の試み!!手作りハンバーガー!!高齢の皆さんに受け入れていただけるか心配をしていますが、そんな心配はどこ吹く風。皆さん大きな口を開けてハンバーガーを食べられていました。食後は得意な競技や、欲しい参加賞を目指してそれぞれ競技に参加していただきました。体が動けば心も動く。皆さんの心だけでなく、すずの郷全体の空気がすがすがしくイキイキとした空気に包まれた1日となりました。(佐久間恵美)

体を動かそう!! ROUND1

青空の下、運動会を行いました。毎年恒例の運動会とは形を変え、ユニット対抗ではなく、個人で好きな競技に参加していただく運動会です。

この1年半、体を動かす機会が少なく寂しい思いもしていましたが、久しぶりに皆で外に出て、気持ちの良い時を過ごしました。

今回のすずの郷新聞は、ROUND1(運動会)の様子をお伝え致します。



開会式
ラジオ体操とシャボン玉ショー

開会宣言は森本治郎さんが。ラジオ体操は塚本辻夫さんが大活躍。



青空にシャボン玉が映えて、皆で感動しました。




ランチ
手作りハンバーガーでいつもと違ったランチを




鹿子 ボーリング

ペットボトルのピンを倒してボーリング!!ピンが倒れるとワッ!!と歓声が上がり、倒れなかったり、思う方向に投げられないと本気で悔しがられ、皆さん真剣そのもの。木村幸子さんは、ボールを渡すとすぐに勢いよく投げられ、全てのピンが勢いよく倒れた見事なストライク!!参加されたお年寄りはイキイキと楽しんでもおられ、心も体も動かしたラウンドワンになりました。(祖父江智哉)





井桁 風船でポン

「自然と体が動いてしまう」体感する遊び『風船でポン』できないできないと言いつつも…風船が飛んでくるとついつい両手が動いてしまう。ルール説明不要で大いに盛り上がりました。風船が見事にカゴに入ると、これまた自然に笑顔がこぼれる。皆さんの笑顔と機敏な動きを見ていると、これはまさに究極の遊びリハビリテーションでは!?と思いました。日常にもどんどん取り入れて、皆さんの沢山の笑顔が見たいです。(小林友記子)



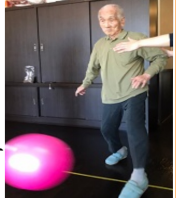



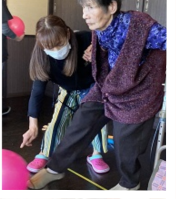


西館 魚釣り

「うまく釣れるかな〜」と心配していましたが、プール内の全部の魚をつり上げてしまう方も数名いらっしゃると、予想を超える結果に、とても驚きました。また、今回のイベントをきっかけに、本館のお年寄りからも「あんた見たことあるわ〜。」とお声を掛けていただけるようになり、スタッフも一緒に楽しめたイベントでした。(櫻井亜美)



七宝 サッカー

「Let'sサッカー!!」お年寄りに足を使って運動していただこうと、サッカーゲームを行いました。ゴール前に立ったお年寄りは、ボールが足元に来ると、車椅子に座って上手く膝を使いボールを蹴る方、車椅子から立ち上がってボールを蹴る方、サッカー選手並みに助走をつけボールを蹴る方「絶対ゴールに入れるぞ!!」と意欲が伝わりました。ゲーム終了後にはみんな大好き「黒糖棒」を参加賞としてプレゼント。お腹も喜んでいただきました。(野々部由美子)

矢掛 バスケ

バスケットボールを行いました。皆さん軽くボールを投げられると思いきや日頃、肩の上がらない方が強めに投げてゴールをされる方、入らないと悔しがり、ラインよりも前に出てゴールされる方、何回投げても毎回ゴールに入り、終始ご満悦の方、何度も何度も入るまでムキになられる方など、真剣な顔、入った時の笑顔、悔しい表情など…様々ないつもと違う表情、いつもと違うお年寄りの一面を見られました。(澤田さおり)

すずの郷新聞

第122号




施設長のつらさ

炭火焼きのサンマに、栗ごはん、焼き芋、梨や巨峰の果物など、秋の味覚を楽しんでいただきます。まだ全て自由とまではいきませんが、ご面会の緩和や外出、イベント、趣味の活動など、コロナ前の日常へ近づけることを願っております。

今月のベストプレイヤー

好きな役は混一色(ホンイツ)の森新二さんと、平和(ピンフ)好きの丹良隆さんと、卓を囲んで麻雀。昔よくやっていたとじっくくり手牌を見ながら牌をツモって切っていくそうです。局は終盤16巡目、8千点!!(牧野伸一)





武光観光 ハロウィンナイトと 感動の花火



武光観光では、10月のイベント「ハロウィンナイト」を行いました。玄関前や喫茶をかぼちゃやお化けで飾りつけ、まさにハロウィンモード。怖いお化けの格好をしたスタッフを見て「キャー」と叫ばれた日比野良子さん。フォトスポットでは、魔女の帽子やマントを使用し写真撮影。樋田ふみ子さんは、手を挙げてポーズをとっておられました。

食べ物はホットワインにすずの郷の石窯で焼いた焼き立てのピザ。ビスケットカナッペなど、お酒好きの方が楽しめるものや、ハロウィンらしいかぼちゃのプリンなどをご用意させていただきました。諏訪勝興さんは、繰り返しお見えになり沢山食べてみえたのが印象的でした。また、ピザに使用したバジルソースは、すずの郷の畑で採れたバジルを使って、荒田たてるさんと一緒に作りました。荒田さんが「ソースが美味しくできたよ」と教えて下さり、イベントが始まる前から楽しみにしておられたのがとても嬉しかったです。

空が暗くなった頃には、駐車場にて打ち上げ花火をしました。夏祭りで行う予定だった打ち上げ花火を皆で見れて感動しました。

今後も、お年寄りと一緒に景色や気持ちを共有して、同じ時を楽しんでいきたいと感じた素敵な夜でした。

(木村優花)



国分小学校の 稲刈り見学

雲一つない気持ちのいい秋晴れのなか、今年も地元の国分小学校4年生の児童さんたちと、わらべ館の子供たちと一緒に稲刈りを楽しみました。

昨年大活躍して下さった山田貞一さんが「やらん!!」と言。「見るだけでも…」「行かん!!」「じゃあ、お散歩に…」「俺はやらんぞ〜」そんなやりとりを繰り返しながら、田んぼに向かって散歩に出掛けました。不器用ながらも頑張る子供たちを見ているうちに「やったるかあ…おい!!鎌よこせ」とスタッフに支えられながら田んぼに足を踏み入れるやいなや稲を次々と刈り取り、手際よく紐で束ねられる姿に、そこにいた全員が思わず見とれてしまいました。すると、恵良貞喜さんも、楳村和子さんも「よし!やってみるか〜!」と田んぼに入れ「懐かしいなあ〜よくこうしてやってたわなあ」と久し振りの稲刈りを楽しんでおられました。お年寄りの皆さんも、その光景を眺めながら、家族総出で手で刈り取っていた昔の思い出話に花が咲き、懐かしまれたひと時となりました。

(鈴木夏由子)



お店の味を 再現 戸田雄一 さん



『弥平』という喫茶店をやっておられた戸田雄一さん。弥平の味を再現しようと、一日限りの喫茶『弥平』を開店しました。

メインは厚焼き玉子のサンドイッチ。店長、雄一さんの一押しです。固めに蒸した濃厚プリンや目玉焼きは雄一のこだわりです。見事にユニット30人分を作り上げ、皆さんの食欲にも満足の店長さんでした。皆さんの前でご挨拶され「今日はありがとう」と感動の涙に、もらい泣きされるお年寄りもおられました。「次は雄一さんのたてられたコーヒーが飲みたい」のお声もありました。数日経ってもお顔を見るたびに「あの日はよかった、ありがとう」とおっしゃられ、次回の弥平オープンが今から楽しみです。

(海川美由紀)

